

# ホンモロコの産卵状況と卵の干出状況

臼杵 崇広

## ◆背景・目的

水位操作に伴う水位の低下がホンモロコの産卵や卵の干出に与える影響を明らかにし、水位操作の改善について提言を行う。

## ◆成果の内容・特徴

- ・ 近年のホンモロコの主要産卵場の一つである湖北町海老江および西浅井町岩熊において平成17年4月28日から7月29日までおよそ週に1回の頻度でホンモロコの産卵状況を調査し、産着卵数と7日後までの水位ごとの卵の干出状況を推測した(図1)。
- ・ 調査期間中のホンモロコの総産着卵数は湖北町では約60.9万粒、西浅井町では約36.3万粒と推定された。
- ・ 5月上旬から6月下旬までに水位操作に伴う水位の低下により多くの卵が干出するようすが観察され(図2)、調査期間中に湖北町では31.4%、西浅井町では61.4%の卵が干出したと推定された。

## ◆成果の活用・留意点

- ・ ホンモロコの初期減耗を低減させるためには、5月から6月にかけて水位を維持あるいは上昇させる水位操作が必要である。

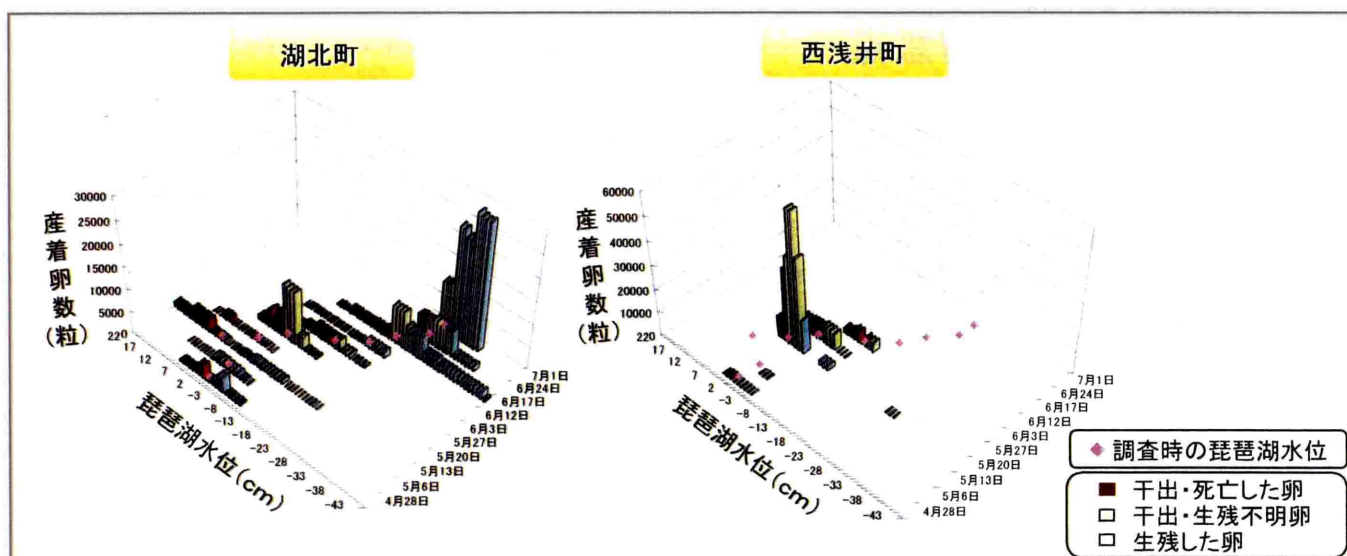


図1 ホンモロコの産卵状況と卵の干出状況.



水際に産み付けられたホンモロコ卵



干出したホンモロコ卵

図2 水位低下により干出したホンモロコ卵.